

くすのき



岡本小学校 学校だより

No. 1

令和3年4月13日

『生き生き学校』



《学校教育目標》 夢に向かって未来を拓く『おかもとの子』の育成

めざそう『生き生き学校』

令和3年度の岡本小学校が動き出しました。4月5日には新1年生44名をお迎えし、児童338名、教職員53名でスタートしました。現在もコロナ禍であることは変わりありませんが、昨年度1年間を通して、学校現場では、「できること」と「できないこと」がある程度明確になりました。現在は粛々と「できること」を模索し、できるだけ正常な教育活動を行えるように努めています。

「ランドセルが重いよ」と言いながらも、自力でしっかりと歩いて登校する1年生。

教室につくと、自分で道具箱の中に勉強道具を入れる習慣も身につけてきました。

初めての給食時間、6年生に配膳してもらう間も良い姿勢で静かに待つことができ、給食中も「話をしない」という約束を守ることができました。



1年生だけでなく、どのクラスでも子どもたちは落ち着いており、新しい学年に向けて、一人ひとりのやる気や意欲が感じられます。学期始めのこの前向きな気持ちを持続できるよう、学校を楽しい場所にしていきたいと思えます。

今年度の

「めざす学校像」は『生き生き学校』

です。昨年度は、不安定な情勢の中、せめて学校だけでも子どもたちにとって『居心地の良い』場所にしようと、「みんなの教室」開設や体育フェスティバルにおける目標達成の機会の保障などに取り組んできました。今年度は少しステップアップして「生き生き学校」をめざします。『居心地の良い学校』を基盤に子どもも教職員も保護者も「岡小へ行くことが楽しみ」になるような学校づくりを進めていきます（詳細は裏面参照）。

「どうして学校に行かなくてはならないの？」子どもからこんな質問をされたら、あなたはへと答えますか？

年度初めに、岡小の先生たちみんな考えてました。

「学校は、学力を身につける場所」

「学校は、人格形成の場所」

そして、もう一つ、大事な役目があることに気づきました。それは、

「安心・安全な居場所」としての機能です。

昨年度2か月間もの休業中、ゲームやスマホの使用時間が倍増したという声をたくさん聞きました。

また、学校が再開しても、なかなか朝起きられないという子も見られました。学校があることで、自然と基本的な生活習慣が身につく、給食ではバランスの良い食事がとれます。

改めて学校の存在意義が見直されたのではないのでしょうか。

始業式に「ハチドリのお話」という絵本の読み聞かせをしました。森の火事を消そうと、ハチドリ クリキンディが、一滴ずつ水を運ぶというお話です。果たして、クリキンディは、森の火を消すことができるのでしょうか？

この話に結末はありません。続きを考えるのは読み手一人ひとりだからです。

新しい学年をどんな1年にするのか、だれにも結末はわかりません。でも、分かっていることが一つだけあります。明日からどのように学校生活を送るかによって、自分を変えることができるということです。続きを創るのは、自分自身です。

クリキンディのように自分で考えること

クリキンディのように自分で決めること

クリキンディのように挑戦すること

クリキンディのように決めたことを続けること

クリキンディのように…

そうすれば、きっと

「明日も学校へ行くのが楽しみだ！」

と感じられることでしょう。そして、

「学校に行ってできるようになった！」

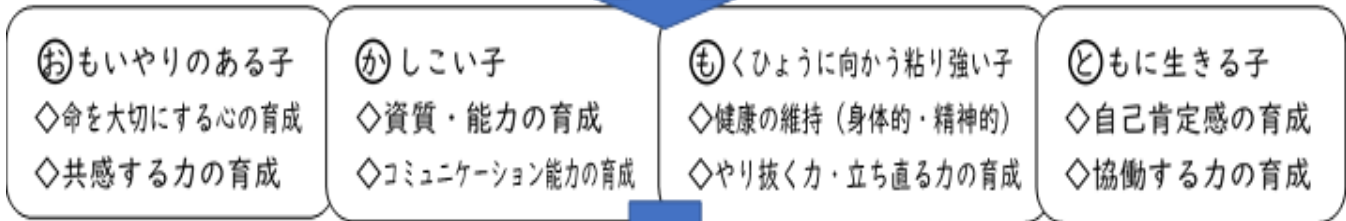
と実感できることが増えることでしょう。

「生き生き学校」は、自分自身で創るものです。

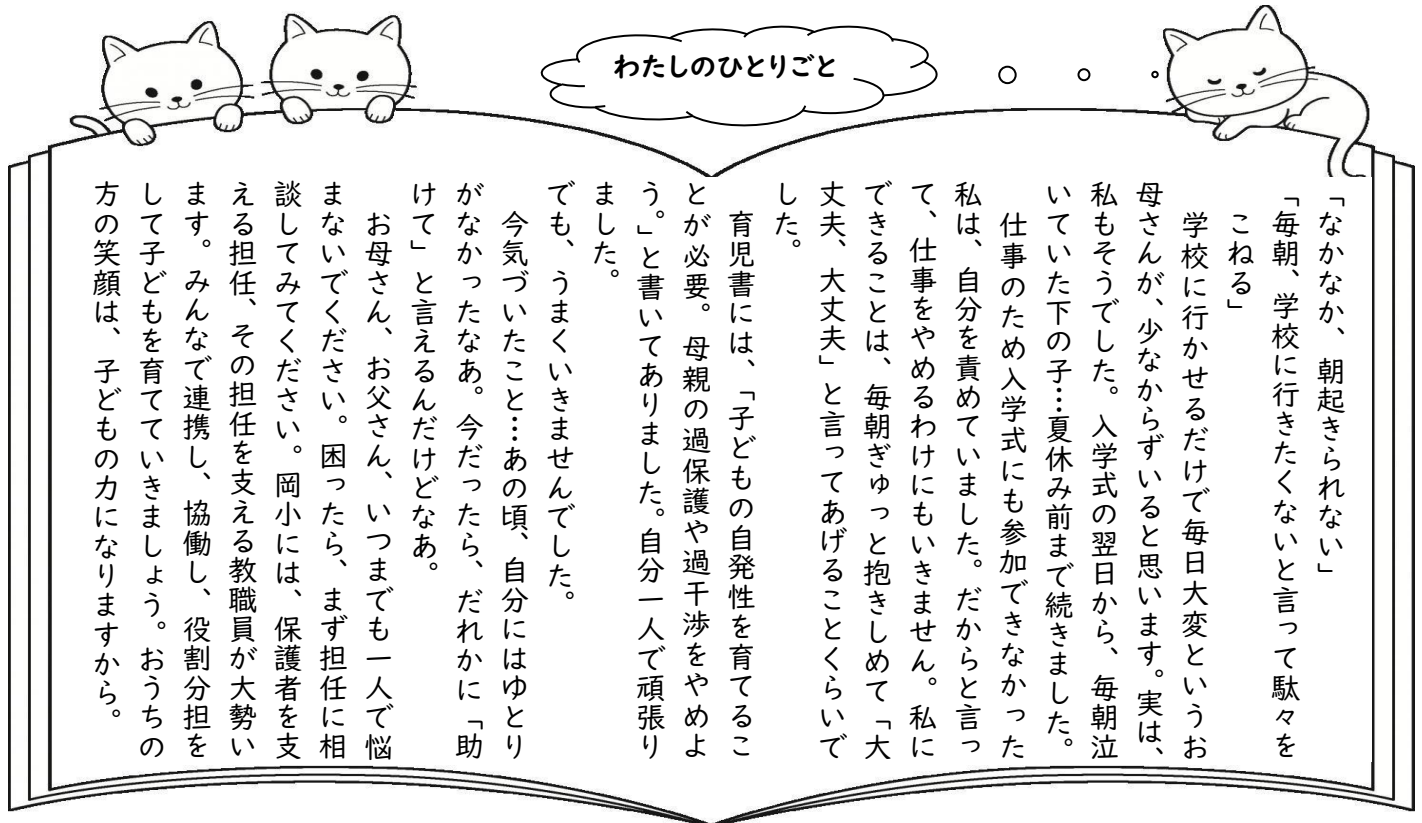
岡小の先生たちは、全力で応援します。

★こんな学校をめざします★

学校教育目標
夢に向かって未来を拓く **お****か****も****と**の子の育成



今年度のめざす学校像
『生き生き学校』



わたしのひとりごと

「なかなか、朝起きられない」
「毎朝、学校に行きたくないと言って駄々をこねる」

学校に行かせるだけで毎日大変というお母さんが、少なからずいると思います。実は、私もそうでした。入学式の翌日から、毎朝泣いていた下の子…夏休み前まで続きました。

仕事のため入学式にも参加できなかった私は、自分を責めていました。だからと言って、仕事をやめるわけにもいきません。私にできることは、毎朝ぎゅっと抱きしめて「大丈夫、大丈夫」と言っただけのことくらいでした。

育児書には、「子どもの自発性を育てることが必要。母親の過保護や過干渉をやめよう。」と書いてありました。自分一人で頑張りました。

でも、うまくいきませんでした。
今気づいたこと…あの頃、自分にはゆとりがなかったなあ。今だったら、だれかに「助けて」と言えるんだけどなあ。

お母さん、お父さん、いつまでも一人で悩まないでください。困ったら、まず担任に相談してみてください。岡小には、保護者を支える担任、その担任を支える教職員が大勢います。みんなで連携し、協働し、役割分担をして子どもを育てていきましょう。おうちの方の笑顔は、子どもの力になりますから。